

京都華頂大学G P A運用内規

1. G P Aの算出方法

(1) 学期G P A

$$G P A = \frac{\text{(教科科目の単位} \times \text{成績値) の合計}}{\text{当該学期に履修登録した科目の単位合計}}$$

(2) 積算G P A

$$G P A = \frac{\text{(教科科目の単位} \times \text{成績値) の合計}}{\text{入学時以後に履修登録した科目の単位合計}}$$

評 定 点	標 語	成 績 値	合 否
100～90点	S	4	合 格
89～80点	A	3	
79～70点	B	2	
69～60点	C	1	
59点 以下	D	0	不 合 格

$$G P A = \left[(S \text{の科目の総単位数}) \times 4 + (A \text{の科目の総単位数}) \times 3 + (B \text{の科目の総単位数}) \times 2 + (C \text{の科目の総単位数}) \times 1 + (D \text{の科目の総単位数}) \times 0 \right] \div (S \cdot A \cdot B \cdot C \cdot D \text{の総単位数})$$

2. G P AとC A P制の関係

京都華頂大学におけるG P AとC A P制（当該期における履修単位の上限48単位）の関係は以下の通りとする。

※学期G P A及び積算G P Aのいずれかが規定の条件を上回る場合、当該期における履修単位の上限を以下の通りとする。

学期G P A	積算G P A	当該期における履修単位の上限
3.00以上	2.90以上	52
2.80以上	2.70以上	50

3. G P Aによる学修指導等

- (1) 学期のG P Aが2.0未満となった学生に対しては、担任から学修の指導を行なう。
- (2) 病気その他、やむを得ない事情がないにもかかわらず、学期G P Aが1.0未満となった学生に対しては、担任が警告を行う。
- (3) 連続してまたは通算で、2つの学期でG P Aが1.0未満となった学生に対しては、担任の面談等により学修意欲があると判断される場合を除き、学科長が退学を勧告することがある。